

進路だより

天草支援学校 進路指導部
令和7年7月18日(金)発行
第1号

進路だよりを通して、小学部、中学部、高等部の取組をご紹介します。1年間、どうぞよろしくお願ひいたします。初回は、「挨拶」「礼儀」をテーマに、各学部の取組を御紹介します。

小学部 『小中高とつながるための第一歩 挨拶』

小学部では、コミュニケーションの基本である「挨拶」について御紹介します。毎朝、自分の教室に行くまでにたくさんの教師と挨拶をします。毎日繰り返し取り組むことで、挨拶が当たり前にできるようになります。立ち止まって目を見て挨拶をする児童、大きな声で挨拶をする児童、「お、は、よ、う。」と教師と1文字ずつ口形を確認しながら挨拶をしたりする児童など、挨拶の仕方は様々です。朝から気持ちよく1日をスタートし、教師や友達とコミュニケーションを図るために、挨拶は大切な力となります。朝の挨拶の他にも、授業の始めや終わりの「お願ひします。」「ありがとうございます。」、給食時の「いただきます。」など、一つ一つの挨拶を大事にし、中学部、高等部へとつなげていきたいと思います。



中学部 『作業学習を通してつないでいくこと』

中学部では、新しい形で作業学習が始まりました。グリーン、クリーン、クラフトの3種類の作業を、一致団結して取り組んでいます。作業内容や活動場所もグループ毎で異なります。全活動共通の作業目標「1 大きな声でいさつ、へんじ。2 時間いっぱい、最後まで。3 心をこめて、ていねいに」を必ず全体で復唱しています。作業中も「しっかり丁寧な言葉で話す」、「報告・連絡・相談」、「挨拶」と仕事をするうえで大事な要素を心掛けて作業に取り組んでいます。小学部で身に付けた「挨拶」の力をより高め、働くことの意味を考えながら、高等部へとつなげられるような作業学習を実施していきたいと思います。



高等部 『現場実習を通して見えた“つながり”』

6月の現場実習では、それぞれの実習先で真剣に取り組み、社会の中での学びを深める貴重な時間を過ごしました。小学部で身に付けた「挨拶」の力は、実習先での第一印象を大きく左右します。明るく元気な挨拶は、職場の方々との良好な関係づくりにつながっていました。また、中学部で学んだ「作業学習におけるルールや約束を守る姿勢」は、実習での作業を確実に行ううえで、大きな力となっていました。「時間を守る」「報告・連絡・相談をする」「安全性」といった基本的な行動については、実習先から3段階の評価のうち2段階以上の高い評価をいたしました。

こうした積み重ねがあるからこそ、高等部での実習はより充実したものとなります。今後も、各学部での学びの“つながり”を大切にしながら、生徒一人ひとりが将来に向けて一歩ずつ進んでいけるような進路指導を行っていきたいと思います。

